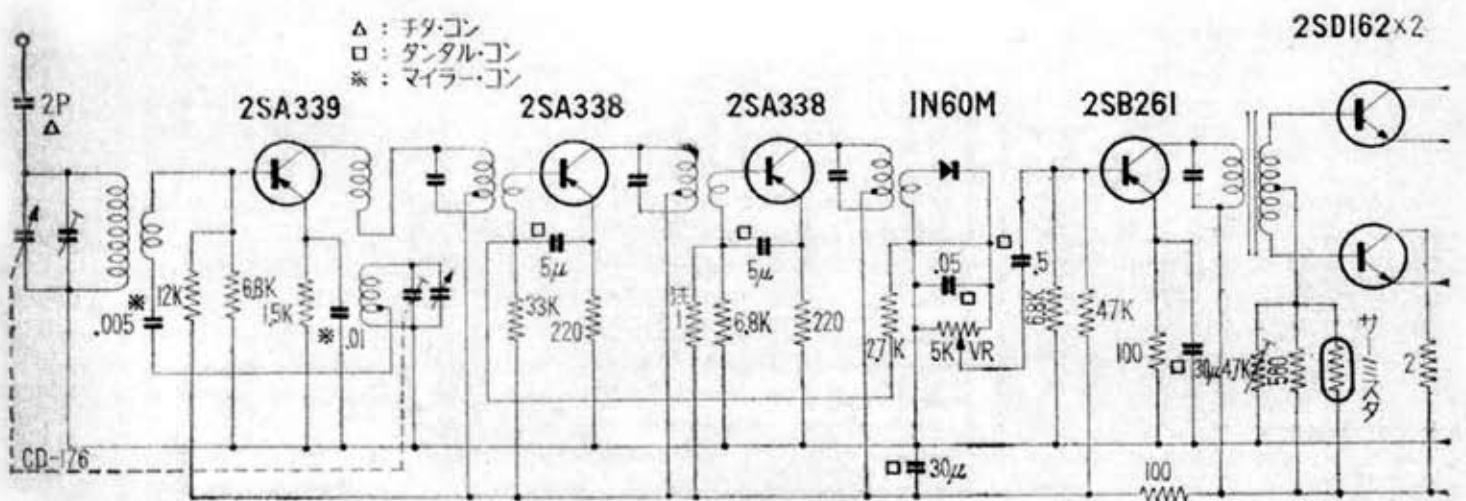


スタンダード 8



(第1図) スタンダード SR-H437 の回路図

石1 Band SR-H437

正 価 9,800 円

は、一般のものより更に小形で、高周波部のTr は松下製、低周波部は神戸工業製だそうである。電池は、水銀電池 (MN 形 1.3V) を 2 個使っているが、電源電圧が低いせいか、消費電流は一般のラジオの約 2 倍流れる。

〔測定結果〕

感度は、実用感度 (S/N 20 dB) で 1.7 mV/m と、一般の 8 石ラジオに比

べ約 10dB 悪いが、これは超小形化によつて、アンテナコアが著しく小さくなっているためである。またイメージ妨害比も 1,000 kc で 36 dB と、5 dB 位悪くなっている。

選択度、電気的周波数特性は普通である。ひずみが 7% あり、普通 3~5% であるのに対して、少しく悪いが、こ

れは低周波段直結ブツシユブルの設計に問題があるようである。このラジオは OTL であるため、出力はスピーカ端子電圧を直接測つたので、グラフ表示の単位は出力電圧 (V) にした。仮にスピーカインピーダンス (30 Ω) を純抵抗とみなして計算すると実用最大出力は約 56 mW とれている。

